

なおとみエコ肥料のご紹介



おいしい作物栽培は土づくりから

主な原料は規格外の野菜などです

「長野地方卸売市場」から排出される規格外の野菜、果物などの有機性資源が、なおとみエコ肥料の主原料です。そのため地球環境保全に貢献するエコな肥料です。調理前の野菜などですので塩分が少ないことも特徴です。また、長野地方卸売市場の一角になおとみエコ肥料製造施設があるため、排出後速やかに肥料を製造しており安心です。

製造時に 内城菌うちしろきんを加えています

内城菌(うちしろきん)は厳しい環境でも農業畜産が循環することを願った故・内城本美氏が、長野県松本市美ヶ原の土壌から見つけ出した土壌菌を培養・発酵技術で磨き上げた土壌菌群です。内城菌を活用して製造されたいわゆる内城菌堆肥は、連作障害や土壌病原菌、雑草の繁茂を防ぐことや寒冷地の北海道でも使用できることが知られています。

製造時に 高温で加熱しています

農作物の生育に悪影響を与える病原菌が原料に入っていたとしても、なおとみエコ肥料を製造する時に高温で加熱され病原菌が死滅するので、安心してご利用いただけます。



なおとみエコ肥料のご利用方法

なおとみエコ肥料には内城菌が使用されているため、一般的な堆肥と同じように使用すると農作物の発育を阻害してしまう場合がありますので、ご使用方法にご留意をお願いします。

ご利用方法概要

詳しくはご購入時にお問い合わせください
作土1坪当たり3~5kg(土の状態によります)のなおとみエコ肥料を混合し、散水してください。2~3日で白い糸状菌が作土表面を覆うことがありますが、内城菌が働いている証拠であり問題ありません。1週間ほどで黄色の放線菌が作土表面を覆ってきますのでここから1~2週間(施肥後計3~4週間)ねかせてください。その後には定植や種まきを行ってください。